

## 自分を信じて、前向きに



商学部長

いしかわ  
てつお  
石川 鉄郎

商学部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんにとって、中央大学商学部での学生生活はいかがでしたか。何を学びましたか。自分はこれを学んだ、あるいは自分の専門はこれだといえることがありますか。また、どんな出来事がありましたか。どんな出会いがありましたか。

おそらく皆さんは、中央大学商学部でいろんなことを学んだはずですが、嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、悔しいことなど、いろいろな出来事があったことでしょうか。さらには、さまざまな人との出会いもあったと思います。卒業にあたり、これまでの学生生活をいま一度振り返ってみてください。

これまでの学生生活を振り返るとき、ほぼ満足のいく学生生活を送ることができたと思う人もいれば、やり残したことが多かったと思う人も

いるでしょう。しかし、どちらの場合であっても、皆さんは、確かに人生の中で最もみずみずしい時を過ごしたのです。そして、そのようなみずみずしい時を過ごすことによつて、皆さんは確かに成長してきたのです。

今日、皆さんは中央大学商学部を卒業します。卒業と同時に、明日からは、社会人あるいは職業人として新たにスタートを切ることになりまします。これからの人生は長く、今まで経験したことのない大きな困難に直面することもあるでしょう。また、学生時代とは異なり、自立や責任も強く求められることになると思いますが、しかし、過度の不安は不要です。程よい謙虚さを持ちつつ、中央大学商学部での学生生活を通じて成長してきた自分を信じて、前向きに今後の人生にチャレンジしていったらいいと思います。

最後に、皆さんの今後の人生が幸運に満ちたものであることを、心よりお祈りいたします。グッド・ラック。それでは、さようなら。

## 大学で学んだこととは



理工学部長

いしい  
よういち  
石井 洋一

ご卒業おめでとうございます。社会への扉を開いて第一歩を踏み出すうとしていた皆さんに、心からのお祝いを申し上げます。

理工学部での4年間、皆さんはそれぞれの専門分野で、自然科学の原理と応用を学んできたことでしょうか。しかし、大学での学業を終える今、社会に出てからも同じ分野の仕事をする人も、また、大学での学びとは異なった分野での仕事に進む人もいます。むしろ、大学での学問がそっくりそのまま活かせるという人は、少数かもしれません。では、大学で学んだことは、社会人となる皆さんにとって、どのような価値があるのでしょうか。

確かに、皆さんはそれぞれの専門分野を学んできたわけですが、専門的知識を身につけること自体は学問をすることの本当の目的ではありません。真に重要なことは、理工学の考え方は何か、研究とは何か、そ

れらを経験を通して理解することです。そして、現実のさまざまな課題を解決するための方法を、自らの手で探し、確かめ、実現可能な解決に導いていけるだけの総合力をつけることです。これは専門を超えた力と言ってもよいでしょう。皆さんは、4年間の学習と卒業研究によつて、それだけの力を体得してきたはずで

皆さんがこれから社会に出て出会う課題は複雑で困難かもしれませんが、まして、日本の社会や経済が不安定な時代にあつて、これまでと違う分野のことも学びながら、手探りで自分なりの解決法を探さなければならぬのです。そのとき、理工学部で身につけた専門を超えた力が、きつと生きることでしょう。

理工学部で過ごした期間、勉強は大変だったけれど充実していた、そんなふうに見えるなら、皆さんはきつと社会の荒波を乗り越えていけるだけの高いポテンシャルを得たのです。自信をもって社会へ飛び出してください。Bon voyage!